

急患診療センターを 上手に利用しましょう

急患診療センターの現状



近年、軽い症状でも、休日や夜間に急患診療センターを受診する方が増えてきています。このため、急患診療センターが混み合い、**重症で緊急性のある病気の子どもたちへの対応が遅れてしまう**ことが懸念されています。

重症、あるいは緊急性のある病気の子どもたちが、優先的に診察してもらうために、保護者の方は子どもの状態をしっかりと把握して、**急がなくてもよい場合には自宅で様子を見て、翌日にかかりつけの先生に診察してもらいましょう。**

かかりつけ医で早めの受診を

かかりつけの先生であれば、ふだんの体調や病歴なども知っている上で診察してもらえます。気軽に何でも相談できる「かかりつけ医」をもち、早めの受診を心がけましょう。

裏面では、子どもが「**熱があるとき**」、「**お腹が痛いとき**」、「**皮膚に発しんがでたとき**」の対応について、説明しています。自宅で様子を見て、翌日のかかりつけ医受診でよい場合、夜間や休日でも急いで急患診療センターを受診した方がよい場合などを記載しています。急患診療センター受診の参考にしてください。

平成29年4月

福岡市
福岡市医師会
福岡地区小児科医会

福岡市立急患診療センター

○小児科の受付時間

平日……………19:30～翌朝6:30
土曜日……………17:00～翌朝7:30
盆……………19:00～翌朝7:30
日曜日・祝日……………9:00～翌朝7:30
※ 祝日には、年末年始(12/31～1/3)を含む

待ち人数は、ここから
確認できます ↓



○住所・電話番号

〒814-0001 福岡市早良区百道浜1丁目6-9
TEL:092-847-1099

- ※ 日曜日・祝日の昼間は、東・南保健所内の急患診療所でも小児科の診療をしています。
- ※ 乳幼児は、検査機器が充実した急患診療センターでの受診をお願いします。

困ったときに利用できます

○小児救急医療電話相談

子どもの病気、ケガ、薬、応急処置などに関する相談に、看護師または小児科医が対応します。

電話 #8000 または 092-661-0771
受付時間 平 日:19:00～翌朝7:00
土曜日:正午～翌朝7:00
日祝日:一日中(翌朝7:00まで)

○こどもの救急

夜間や休日など、病院の診療時間外に、病院を受診したほうがいいのか判断の目安がわかります。

(公益社団法人 日本小児科学会が運営するサイトです)

<http://kodomo-qq.jp/>



熱があるとき



急な発熱でも、重篤な病気はまれです。

家庭での対処のポイント

- ・38度以上の発熱があるとき、熱の状態と熱以外の症状をよくみましょう(嘔吐、食欲があるか、息苦しさはないか、呼びかけるときちゃんと反応するか、機嫌はどうか、よく眠れるか等)
- ・水分の補給(湯冷まし、麦茶、イオン飲料など)はしっかりと行ってください

しばらく様子を見てもよいとき

- ・水分や食事がとれている
- ・熱があっても夜は眠れる
- ・あやせば笑う
- ・遊ぼうとする
- ・それほど機嫌は悪くない
- ・発熱以外の重い症状がない
- ・顔色はいつもと変わらない

早めに受診したほうがよいとき

- ・生後3ヶ月未満の赤ちゃんに38℃以上の熱がある
- ・嘔吐や下痢をくりかえし、ぐったりしている
- ・はじめてけいれんを起こした
- ・顔色が悪く、あやしても笑わない
- ・眠ってばかりいる(呼びかけてもすぐに眠ってしまう)
- ・激しく泣き、あやしても泣きやまないでぐずっている
- ・夜も眠らず機嫌が悪い
- ・呼吸の様子がおかしい(不規則、胸がペコペコくぼむ、鼻の穴がヒクヒクする)

お腹が痛いとき

腹痛の多くは便秘です。

家庭での対処のポイント

- ・トイレに行かせて見ましょう
- ・腹痛が軽い時は、無理に食べさせないで水分を少しずつ飲ませて様子を見ましょう
- ・「の」の字を描くようにやさしくマッサージしてあげると少し楽になります

しばらく様子を見てもよいとき

- ・すぐに軽くなって我慢ができる痛みになった、顔色も悪くない
- ・浣腸や排便をするとおさまって、機嫌が良い



早めに受診したほうがよいとき

- ・ぐったりして泣いてばかりいる
- ・おなかをかがめて痛がる
- ・歩けないほどおなかが痛い
- ・ちょっとおなかをさわっただけで痛がる
- ・嘔吐や激しい下痢、血便をともっている
- ・陰囊(睾丸部分)が腫れて色が変わっている
- ・顔色が悪い状態が続いている

皮膚に発しんがでたとき

発しんとは、体の表面にできたブツブツや色の変化のことです。

家庭での対処のポイント

- ・かゆみが強いときには、冷たいタオルなどをあてて、冷やしてあげてください
- ・ブツブツが出る直前に薬を飲んでいたら、その薬は飲ませないで、かかりつけ医に相談しましょう

しばらく様子を見てもよいとき

- ・かゆみや痛みが強くない
- ・他の症状(発熱、咳き込み、息が苦しそう、激しい下痢・嘔吐)がない
- ・顔色がよく、元気がある
- ・発しんのところを冷やしたら、かゆみや赤みが軽くなった

早めに受診したほうがよいとき

- ・顔や口唇が腫れぼったい
- ・息苦しく、声がかすれてきた
- ・高熱をとめない、元気がない
- ・発しんだけでなく、顔や四肢、関節などが腫れている
- ・かゆがって、あるいは不機嫌で眠れない

